

会 議 記 録

高松市附属機関等の会議の公開及び委員の公募に関する指針の規定により、次のとおり会議記録を公表します。

会 議 名	令和 2 年度 第 1 回 中小企業振興審議会
開催日時	令和 2 年 8 月 3 1 日 (月) 1 4 時 ~ 1 5 時 3 0 分
開催場所	3 0 1 会議室
議 題	(1) 新型コロナウイルス感染症の影響を受ける事業者への支援施策について (2) 令和 2 年度における主な支援施策について (3) その他
公開の区分	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 一部公開 <input type="checkbox"/> 非公開
上記理由	
出席委員	松岡委員、山下委員、米田委員、一小路委員、竹内委員、西尾委員、西川委員、濱中委員、増田委員、宮武委員、西岡委員、吉馴委員、人見委員 (出席委員 1 3 人 / 欠席委員 1 人)
傍 聴 者	3 人 (定員 5 人)
担当課及び連絡先	産業振興課 産業支援・労政係 839-2411

審議経過及び審議結果

～事務局より

議題（１）新型コロナウイルス感染症の影響を受ける事業者への支援施策について配布資料を基に説明～

- ①新型コロナウイルス感染症の影響を受ける事業者への支援施策について
- ②事業者への資金繰り支援について
- ③新型コロナウイルス感染症の影響を受ける事業者の傾向分析について
- ④令和２年９月補正予算（案）について

（委員）

キャッシュレス決済の消費拡大キャンペーンについて、実施時期は10月となっているが、経済活性化策としては1日も早い実施が望まれる。数日単位でも前倒しすることはできないのか。

（事務局）

本事業については、国の臨時交付金を活用した事業であり、連携事業者との協議の中でこの実施時期となった。10月のキャンペーン開始までの期間については、制度の周知・広報を行うことや、事業主がキャッシュレス決済を導入する準備期間に充てたい。

（委員）

資金繰りの支援に関しては実施されていることがわかるが、現在、事業者が一番困っているのが、従業員に感染者が出たときに、どのように行動すればよいのか等がわからないことである。行政が施策を検討する中で、この視点が欠けているように感じている。

（事務局）

現段階で、事業者の行動に関するガイドライン等が国から示されていない。ガイドライン等が公表された際には、市としては周知を行ってまいりたい。

高松商工会議所からの報告（別紙１）

- ①「新型コロナウイルス感染症対策関連事業」実施状況について
- ②新型コロナウイルス感染症に関する相談の推移並びに内容について

（要点）

- ・飲食業者への支援について、厳しさを感じている。
- ・Go to Eatキャンペーンについては、国のガイドラインが公表されれば速やかに開始できるよう準備している。
- ・経営相談も実施したが、件数のピークは5月であった。また、当初は融資など資金繰りに関する内容が大多数であったが、最近では補助金や助成金に関する内容が多くなってきている。

（委員）

高松における飲食店の対策状況について把握しているのか。また、東京が発行している虹のマークのようなものを発行する予定はあるのか。

（会議所）

現状では詳細まで把握できていない。国がガイドラインを公表すれば、直接調査することも視野に入れている。

（事務局）

高松市においても、事業者に協力を求める方式にはなるが、新型コロナウイルス対策推進宣言の様式を作成しているので、活用いただきたい。

香川県中小企業家同友会からのアンケート結果報告（別紙２）

第４回新型コロナウイルスの影響に関する緊急アンケート調査結果
（要点）

- ・新型コロナウイルスの影響を受ける事業者は全体の 98%を超えている。
- ・雇用面に関して、全員雇用を維持している事業者は 79%であった。
- ・雇用調整助成金を必要なしと回答した事業者が 68%であった。
- ・行政の支援策に助けられているという意見が多く集まった。

（委員）

今回の経済危機に関して、会員数への影響は出ているのか。

（同友会）

例年通りの会員数で推移しており、極端な減少は起きていない。

～事務局より

議題（２）令和２年度における主な支援施策について、配布資料をもとに説明～

- ①かがわーくフェアの開催について
- ②中小企業経営講習会の開催について
- ③よろずあきんど塾の開催について
- ④職人育成塾に対する支援について
- ⑤「瀬戸の都・高松」が誇るビジネスアワードについて
- ⑥ 事業継続力強化支援計画の策定について
- ⑦ 企業誘致助成制度の拡充について

議題（３）その他

各機関における支援状況の報告など

（委員）

四経局は、ここ数年「デザイン経営」というキーワードで公募案件を続けているが、商工会議所や市役所からは、そのようなキーワードが見えないのが残念である。新しい可能性として、このような取り組みにも着目し、新たな組織や団体と連携することも大切でないかと思う。

（委員）

中小企業診断士としては、香川県の補助金に関する内容がとても多かった。ものづくり補助金やIT補助金も人気が高い。最近では、補助金に関する相談が多い。今日の資料にもある市の補正予算の内容についても調査したいと思う。若い経営者を中心に、コロナをチャンスと捉えてチャレンジする企業が増えてきたように思う。

（委員）

社会保険労務士は、雇用調整助成金に関する支援を行っている。申請が簡素化され、申請数も相談数も格段に増えていると思っていたが、同友会のアンケートでは、雇用調整助成金を利用しておらず、必要性も感じていない事業所が多く、実感と違う部分があると感じた。

３月頃は、労働局に相談しても返答に時間がかかる状況であったが、現在では、労働局の人員の充実もあり、問合せの回答だけでなく、給付についても早くなったと思う。

(委員)

大学ではオンライン中心の授業となっている。学生の進路に関しては、内定の時期は遅くなっているのを感じるが、私のゼミ生に関しては例年通りの水準で内定している。ただ、社会情勢に左右される部分が大きいので、学生の内定の取消については危惧しているところであり、かがわーくフェアのような就活フェアに関しては、今後も引き続きセーフティネットとして機能してほしいと思う。

(委員)

支援機関としては、会合が開催できず厳しい状況である。